

日本通関業連合会、日本関税協会、輸出入・港湾関連情報処理センター 共催

【税関発足150周年記念シンポジウム】
大転換期にある世界貿易と税関
—官民パートナーシップの将来像—

開催日：2022年11月25日（金） 13:30～16:10（開場13:00）

形式：会場参加・オンライン参加のハイブリッド形式

会場：大手町三井ホール（Otemachi One 3F）
東京都千代田区大手町1-2-1

参加費：無料 締切：2022年11月7日（月）※会場参加は、定員に達し次第締め切らせていただきます。

税関は、1872年（明治5年）11月28日にその前身である運上所から名称を「税関」と改めて以来、日本の貿易の健全な発展と安全・安心な社会の実現に大きな役割を担ってきましたが、本年11月28日に税関発足150周年を迎えます。

現在、貿易を取り巻く環境は、ロシアによるウクライナ侵攻、いまだ収束しない新型コロナ、米中貿易摩擦等の問題や、これらの問題に起因するサプライチェーンの不安定化等、従来の自由貿易の考えだけでは対応できない変化にさらされています。こうした世界貿易の変化を踏まえ、今後の世界貿易を展望し、その中で税関の果たすべき役割や官民パートナーシップのあり方を考えます。

基調講演

13:40～14:30

御厨 邦雄 氏（世界税関機構（WCO）事務総局長）

プレゼンテーション

14:30～15:10

（演者及び順序は予定）

諏訪園 健司 氏（財務省関税局長）

菅原 淳一 氏（みずほリサーチ&テクノロジーズ（株）調査部主席研究員（プリンシパル））

岡藤 正策 氏（（一社）日本通関業連合会会長）

平松 均 氏（輸出入・港湾関連情報処理センター（株）代表取締役社長）

パネルディスカッション

15:25～16:00

パネリスト：御厨 邦雄 氏、諏訪園 健司 氏、岡藤 正策 氏、平松 均 氏、菅原 淳一 氏

モデレーター：岩田 伸人 氏（青山学院大学名誉教授）

■会場参加のお申込みはこちら

<https://ws.formzu.net/fgen/S38147398/>



■オンライン配信用URL（申込不要/定員無し）

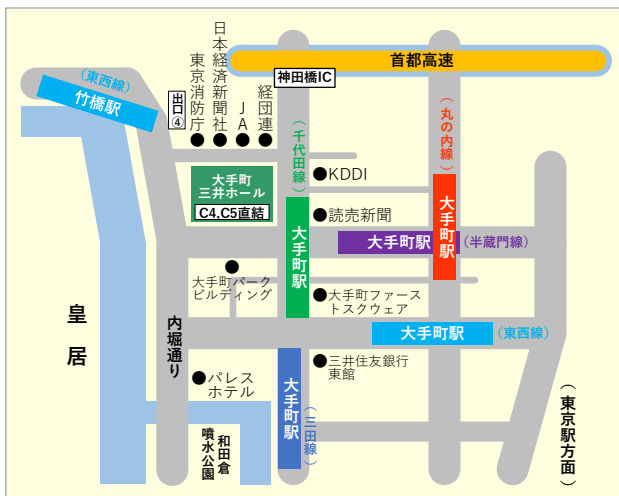
<https://youtu.be/6UfPs4DR4ko>



【当日のご参加】

* 会場参加：申込受付後に確認メールをお送りしますので、当日は、**確認メールを印刷したものまたは確認メールの画面を一般申込者受付**にてご提示ください。

* オンライン参加：開演時間になりましたら配信用URLにアクセスしてご参加下さい。



《会場へのアクセス》

大手町三井ホール（Otemachi One 3階）

東京都千代田区大手町1-2-1

<https://otemachi-one.com/>

■東京メトロ

千代田線【大手町駅】C4直結 徒歩約2分

半蔵門線【大手町駅】C4直結 徒歩約3分

丸の内線【大手町駅】C4直結 徒歩約5分

東西線【大手町駅】C4直結 徒歩約9分

東西線【竹橋駅】出口4 徒歩約5分

■都営地下鉄

三田線【大手町駅】C4直結 徒歩約6分

【お問合せ先】税関発足150周年記念シンポジウム事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8階（一般社団法人日本通関業連合会内）

TEL: 03-3508-2535 E-mail: jcba@tsukangyo.or.jp

（一般申込用）